

試行的研究プログラムの実施

Implementation of a Trial-Research Program

キーワード 潜在能力、気功、伝統医療、相補・代替医療、NIH、精神心理療法

1. 調査の目的

試行的研究プログラムは、現象面においては何らかの兆候がみられるものの、科学的手法では未だ解明されていないテーマについて、科学的な計測、解析等を行う試行的研究を実施することにより、新たな科学技術に関するパラダイムの創生の可能性を探るものである。

なお、本試行的研究プログラムは、平成 12 年度を初年度とし、平成 14 年度までの 3 年間に研究期間として実施されたものである。

2. 調査研究課題の概要

(1) 潜在能力の物理生理学による実証的研究

20 世紀の科学技術は、主として客観的物質世界を研究対象とするというパラダイムを築き、その内部では大きな成果をあげてきた。反面、意識・精神・心が関与する様々な現象の研究は、積極的に研究されず、21 世紀の研究対象分野として注目されているところである。

この分野には、気功、瞑想、笑い、音楽、香り、森林浴等、人間のリラックス、予防医療、健康の維持増進、癒しや自然治癒力等、人間の「潜在能力」と深く係わっているものが多い。

この研究課題は、これまでの科学技術のパラダイムの成果の延長では説明がつかずともないといわれる人間の「潜在能力」を取り上げ、これを物理生理学的手法により、その機構・原理を実証的に追求・解明しようとしたものである。

(2) 伝統的健康法及び心身鍛練法の人体科学的研究

中国の伝統医療である気功は、医学分野の専門家や一般の人々等、広く関心を集めている。それは西洋医学を否定するのではなく、ストレスの多い現代生活は、薬や治療だけでは十分ではなく、伝統医学による心の満足や、リラックスできることが病気から回復することに役立っていると考えられるからである。

すなわち、病気から治癒するには心を抜きにして、完全な治癒はないと考える。中

国では古代から気功を通じて、健康を維持し、病気から回復する一つの方法として伝統的に受け継がれている。

この研究課題は、これらの伝統的医療を心身鍛練法も含め、新しい技術で人体科学的手法により評価し、何が重要であるかを明確にし、応用の可能性を追求しようとしたものである。

(3) 精神心理療法に関する基礎的研究

近年、相補・代替医療の研究は、欧米において盛んになり、米国では国立衛生研究所(NIH)が、1999年、ハーバード大学、コロンビア大学、スタンフォード大学等、13の大学に約6,500万ドルの予算を配分したが、それらの成果について、平成12年2月、米国アリゾナ、同4月、ミュンヘンのシンポジウムにおいて発表されている。その中の大きな分野の一つが精神心理療法である。精神心理療法の有効性および安全性については検討が始められているが、その測定方法および評価基準については、未だ普遍的なものは確立されていない。

この研究課題は、特に人間の自然治癒力に着目し、その基礎的な研究により、精神心理療法の測定方法や評価基準の確立に資せんとしたものである。

3. 研究の推進方法と具体的研究課題

学識経験者による企画委員会を設置し、その指導のもとに、研究課題及び課題研究者の選考を行なった。研究成果については、企画委員に新たに拡大委員を加えた事後評価委員会において事後評価を行った。

(1) 評価委員の構成

企画委員長	渥美 和彦	東京大学名誉教授
企画委員	稲場 文雄	東北大学名誉教授
同	上田 至宏	関西鍼灸短期大学 生理学教室 教授
同	遠藤 俊吉	東京医科大学精神医学講座主任教授
同	中澤 正治	東京大学大学院工学系研究科教授
拡大委員	井形 昭弘	あいち健康の森・健康科学総合センター長 名古屋学芸大学々長
同	川嶋 朗	東京女子医科大学腎臓病統合センター講師
同	久保 千春	九州大学医学部心療内科教授
同	中馬 一郎	大阪大学名誉教授
同	武者 利光	帝京平成大学教授、(株)脳機能研究所所長

(2) 具体的研究課題と課題研究者

第1研究課題：潜在能力の物理生理学による実証的研究

「多様計測による特殊生体機能に関する研究」

山本 幹男 独立行政法人 放射線医学総合研究所 上席研究員

「ポジトロン断層法（PET）による潜在能力の計測に関する研究」

伊藤 正敏 東北大学 サイクロンセンター核医学研究部 教授

「脳波による生命情報の計測に関する研究」

河野 貴美子 日本医科大学 情報科学センター 研究員

「精神神経内分泌免疫学による潜在能力の分析に関する研究」

樋口 雄三 東京工業大学大学院 理工学研究科 教授

第2研究課題：「伝統的健康法及び心身鍛練法の人体科学的研究」

「気功等の呼吸関連性の計測に関する研究」

町 好雄 東京電機大学 工学部電子工学科 教授

「電気パルスや音声解析等による気功等の計測に関する研究」

木戸 眞美 東北学院大学 教養学部 教授

「伝統的健康法の身体効果の計測に関する研究」

青木 孝志 中部大学 工学部情報工学科 教授

「特殊感覚の医学利用に関する基礎的研究」

福岡 博史 医療法人明徳会 主任研究員

第3研究課題：「精神心理療法に関する基礎的研究」

研究代表者 内山 明彦

早稲田大学 理工学部 機械工学科 教授

注：第3研究課題については、課題の性格から、とくに小課題を設けていない。